

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

B1

(11)Publication number : 2002-213004

(43)Date of publication of application : 31.07.2002

(51)Int.Cl.

E03D 9/08

(21)Application number : 2001-010610

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC WORKS  
LTD

(22)Date of filing : 18.01.2001

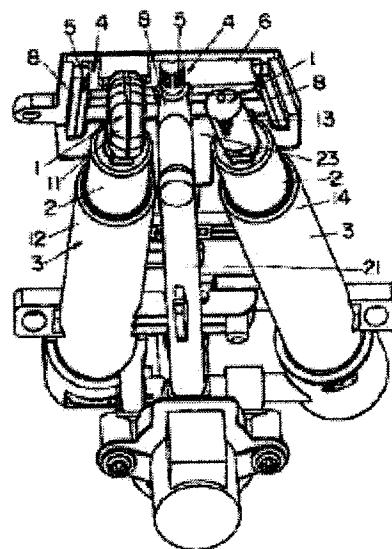
(72)Inventor : TANAKA KUNIYAKI

## (54) PRIVATE PARTS WASHING DEVICE

### (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To securely clean filth adhered to a private parts washing nozzle.

SOLUTION: A private parts washing device is provided with the private parts washing nozzle 1 for washing the private parts so as to change its attitude to use attitude and storage attitude. A slider 2 provided with the private parts washing nozzle 1 at the tip is provided in a cylinder 3 so as to be freely retractable. The private parts washing nozzle 1 is constituted so as to protrude from the cylinder 3 at the storage attitude of the private parts washing nozzle 1 in which the slider 2 is stored in the cylinder 3. A nozzle injection washing means 4 injecting, washing, and dropping filth adhered to the private parts washing nozzle 1 at the storage attitude of the private parts washing nozzle 1 is provided.



- 1. 洗浄洗浄ノズル
- 2. スライダー
- 3. シリンダー
- 4. ノズル噴射洗浄手段
- 5. 墓封口

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-213004

(P2002-213004A)

(43)公開日 平成14年7月31日 (2002.7.31)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

E 03 D 9/08

識別記号

F I

E 03 D 9/08

テ-マゴ-ト(参考)

D 2D038

審査請求 未請求 請求項の数9 O.L (全12頁)

(21)出願番号 特願2001-10610(P2001-10610)

(22)出願日 平成13年1月18日 (2001.1.18)

(71)出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72)発明者 田中 邦昭

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株

式会社内

(74)代理人 100087767

弁理士 西川 恵清 (外1名)

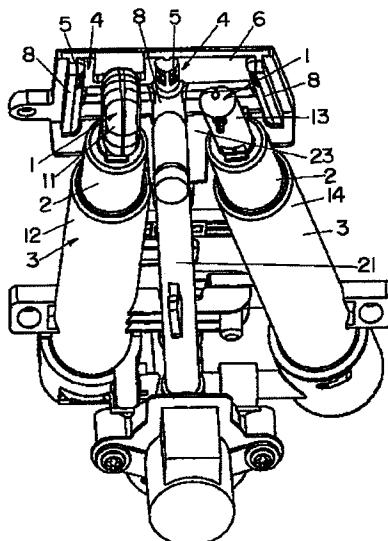
Fターム(参考) 2D038 JA01 JA05 JC00 JF06

(54)【発明の名称】 局部洗浄装置

(57)【要約】

【課題】 局部洗浄ノズルに付着した汚物等を確実に清浄化する。

【解決手段】 局部を洗浄する局部洗浄ノズル1を使用姿勢と格納姿勢とに変更可能に設けた局部洗浄装置である。局部洗浄ノズル1を先端に備えたスライダー2をシリンダー3に出退自在に設ける。スライダー2をシリンダー3内に収納した局部洗浄ノズル1の格納姿勢においては局部洗浄ノズル1がシリンダー3より突出しているように構成する。局部洗浄ノズル1の格納姿勢で局部洗浄ノズル1に付着した汚物等を噴射洗浄して落とすノズル噴射洗浄手段4を設ける。



1 局部洗浄ノズル

2 スライダー

3 シリンダー

4 ノズル噴射洗浄手段

5 噴射口

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 局部を洗浄する局部洗浄ノズルを使用姿勢と格納姿勢とに変更可能に設けた局部洗浄装置であって、局部洗浄ノズルを先端に備えたスライダーをシリンダーに出退自在に設け、スライダーをシリンダー内に収納した局部洗浄ノズルの格納姿勢においては局部洗浄ノズルがシリンダーより突出しているように構成し、局部洗浄ノズルの少なくとも格納姿勢で局部洗浄ノズルに付着した汚物等を噴射洗浄して落とすノズル噴射洗浄手段を設けて成ることを特徴とする局部洗浄装置。

【請求項2】 ノズル噴射洗浄手段の洗浄水の噴射口を局部洗浄ノズルの軸芯に対して垂直方向にして成ることを特徴とする請求項1記載の局部洗浄装置。

【請求項3】 局部洗浄ノズルの上部及び側方部を噴射洗浄する少なくとも2個以上の噴射口を設けて成ることを特徴とする請求項2記載の局部洗浄装置。

【請求項4】 ノズル噴射洗浄手段の噴射口を、局部洗浄ノズルの軸芯に対して周方向に間隔を隔てて並設して成ることを特徴とする請求項1記載の局部洗浄装置。

【請求項5】 ノズル噴射洗浄手段の噴射口の形状は、局部洗浄ノズルに対する噴射角度が2様以上に異なるように形成して成ることを特徴とする請求項1記載の局部洗浄装置。

【請求項6】 局部洗浄ノズルの噴射口の形状において、局部洗浄ノズルの軸芯の方向に対し扇状、又は円錐状に拡散するように形成されて成ることを特徴とする請求項1記載の局部洗浄装置。

【請求項7】 局部洗浄ノズルの格納位置において、局部洗浄ノズルの上方及び背方に洗浄水が飛散するのを防止する飛散防止板を設けて成ることを特徴とする請求項1記載の局部洗浄装置。

【請求項8】 局部洗浄ノズルの側方に洗浄水が飛散するのを防止する側方飛散防止板を備えて成ることを特徴とする請求項7記載の局部洗浄装置。

【請求項9】 飛散防止板にノズル噴射洗浄手段の噴射口にいたる流路を形成して成ることを特徴とする請求項7記載の局部洗浄装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、局部洗浄ノズルを備えた局部洗浄装置に関し、詳しくは、局部洗浄ノズルに付着した汚物等を確実に清浄化しようとする技術に係るものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来、局部洗浄ノズルを備えた局部洗浄装置にあっては、例えば、洗浄時に局部洗浄ノズルを使用姿勢に突出させて局部洗浄水を噴射させて局部洗浄をおこなうものであることから、反射した局部洗浄水とともに汚物等が局部洗浄ノズルに飛散して付着することがあるものである。

【0003】従来の局部洗浄装置にあっては、局部洗浄ノズルとしておしり洗浄ノズルとビデ洗浄ノズルの他に、両ノズルの主に噴出口及びその近傍を洗浄するためのノズル洗浄用ノズルを備えており、ノズル洗浄用ノズルの吐出口は、局部洗浄ノズルの噴射口の上方に位置して噴射口の上部の近傍の広い範囲を洗浄する広口形状にしているものである。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】このように、従来のノズル洗浄用ノズルの吐出口が広口形状であることから、吐出口から水を自由に落下させて洗浄する形態となり、局部洗浄ノズルの噴射口の近傍の上面のみを洗浄することになり、局部洗浄ノズル側に付着した汚物等を除去する能力が低く、付着した汚物等を除去することができないのが現状である。

【0005】ところで、局部洗浄ノズルの噴出口の周部で、平面状になっている噴出口の上部に汚物が付着しやすく、不衛生となるものであり、又、次の使用者の洗浄に際して局部洗浄ノズルに付着している汚物が飛散され付着されるおそれもあり、きわめて不衛生で病気等の原因にもなるおそれがある。特に、局部を真下より洗浄する構造となる場合には、一層、顕著となる。

【0006】しかも、局部洗浄ノズルを清掃するには局部洗浄ノズルが格納されている狭い箇所に掃除用具を入れるか、或いは、局部洗浄ノズルを使用姿勢へと引き出しての清掃となるため、非常に手間がかかる作業となり、更に、局部洗浄ノズルの噴出口の周部に汚物が付着していることは、清掃する者にとって視覚的に非常に不快なものである。

【0007】本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであり、局部洗浄ノズルに付着した汚物等を確実に清浄化できる局部洗浄装置を提供することを課題とするものである。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1においては、局部を洗浄する局部洗浄ノズル1を使用姿勢と格納姿勢とに変更可能に設けた局部洗浄装置であって、局部洗浄ノズル1を先端に備えたスライダー2をシリンダー3に出退自在に設け、スライダー2をシリンダー3内に収納した局部洗浄ノズル1の格納姿勢においては局部洗浄ノズル1がシリンダー3より突出しているように構成し、局部洗浄ノズル1の少なくとも格納姿勢で局部洗浄ノズル1に付着した汚物等を噴射洗浄して落とすノズル噴射洗浄手段4を設けていることを特徴とするものである。このような構成によれば、格納姿勢においてシリンダー3より突出している局部洗浄ノズル1をノズル噴射洗浄手段4より噴射される噴射洗浄水によって洗浄することができ、噴射されて勢いのある噴射洗浄水によって局部洗浄ノズル1に付着している汚物等を洗浄し落とさせ、確実に清浄化させることができ、かつ、勢いのある噴射洗

浄だから、目視及び感覚的に局部洗浄ノズル1を洗浄することとのアピール感を出すことができ、更に、局部洗浄ノズル1の格納姿勢での洗浄だから、毎使用時に噴射洗浄をおこなうことが可能となり、一層、清浄化しやすく、かつ、清浄化ができる汚物等が付着し難くなり、清潔感を得ることができる。

【0009】請求項2においては、ノズル噴射洗浄手段4の洗浄水の噴射口5を局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して垂直方向にしていることを特徴とするものである。このような構成によれば、局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して垂直に噴射洗浄水を噴射させることができ、噴射洗浄効果を高めることができる。

【0010】請求項3においては、局部洗浄ノズル1の上部及び側方部を噴射洗浄する少なくとも2個以上の噴射口5を設けていることを特徴とするものである。このような構成によれば、局部洗浄ノズル1の上部及び側方部を噴射洗浄することができ、一層、清浄化できる。

【0011】請求項4においては、ノズル噴射洗浄手段4の噴射口5…を、局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して周方向に間隔を隔てて並設していることを特徴とするものである。このような構成によれば、局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して周方向に間隔を隔てて並設した噴射口5…によって局部洗浄ノズル1の全体を洗浄できる。

【0012】請求項5においては、ノズル噴射洗浄手段4の噴射口5の形状は、局部洗浄ノズル1に対する噴射角度が2様以上に異なるように形成していることを特徴とするものである。このような構成によれば、2様以上に異なる噴射角度で洗浄水を噴射させることができ、少ない噴射口5で洗浄範囲を増すことができる。

【0013】請求項6においては、局部洗浄ノズル1の噴射口5の形状において、局部洗浄ノズル1の軸芯Xの方向に対し扇状、又は円錐状に拡散するように形成されていることを特徴とするものである。このような構成によれば、扇状、又は円錐状に拡散するように噴射洗浄をおこなうことができ、少ない噴射口5で洗浄範囲を増すことができる。

【0014】請求項7においては、局部洗浄ノズル1の格納位置において、局部洗浄ノズル1の上方及び背方に洗浄水が飛散するのを防止する飛散防止板6を設けていることを特徴とするものである。このような構成によれば、噴射洗浄水が局部洗浄ノズル1の上方及び背方に飛散することを防止して、局部洗浄装置の内部への飛散及び便器の外部への飛散を阻止することができ、かつ、使用者の身体への飛散を防止し、汚物を含んだ噴射洗浄水を便器の内部に落とすことができる。

【0015】請求項8においては、局部洗浄ノズル1の側方に洗浄水が飛散するのを防止する側方飛散防止板7を備えていることを特徴とするものである。このような構成によれば、側方飛散防止板7によって汚物を含んだ噴射洗浄水が側方へ飛散するのを阻止することができる。

る。

【0016】請求項9においては、飛散防止板6にノズル噴射洗浄手段4の噴射口5にいたる流路8を形成していることを特徴とするものである。このような構成によれば、ノズル噴射洗浄手段4への洗浄水の供給を飛散防止板6に形成した流路8によりおこなうことができ、構成を簡素化できる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を説明する。図1は局部洗浄ノズルの斜視図である。図2は局部洗浄装置の斜視図である。図3は系統図である。

【0018】局部洗浄装置Aは、便器(図示せず)に取り付けられるものであり、局部洗浄装置Aは便座9、便蓋10を有し、局部洗浄ノズル1としてのおしり洗浄ノズル11をおしりノズルシリンダー12によって出退自在に、又、局部洗浄ノズル1としてのビデ洗浄ノズル13をビデノズルシリンダー14によって出退自在に設け、操作部15における操作によって流路切換弁16を切換えて選定したおしりシリンダー12又はビデノズルシリンダー14に貯湯タンク17からの温水を供給して、選定したおしり洗浄ノズル11又はビデ洗浄ノズル13を所定位置に突出させるとともに突出位置において温水をノズル先端部に形成した噴出口11a、13aから噴出して局部洗浄をおこなうようにしている。このような温水供給は、電磁弁18の開放によりロータンク28からの洗浄水を貯湯タンク17に給水することで、ヒータ19にて加温された温水の一部を貯湯タンク17の上部から給湯するものである。符号20は分岐水栓であり、上水道とロータンク28との経路を切り換えて貯湯タンク17に給水をおこなうものである。

【0019】本発明においては、図1、図5及び図9に示すように、局部洗浄ノズル1としてのおしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の格納姿勢で両ノズル11、13を噴射洗浄して付着した汚物等を落とすノズル噴射洗浄手段4を設けている。以下、詳述する。

【0020】格納位置におけるおしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の上方にノズル噴射洗浄手段4の洗浄水の流路8を形成している飛散防止板6を設けている。飛散防止板6にはノズル洗浄用管路体21を接続している。飛散防止板6の裏面におしり洗浄ノズル11を格納する部分6aを形成して流路8に連通して噴射口5…を形成している。又、飛散防止板6の裏面にビデ洗浄ノズル13を格納する部分6bを形成して流路8に連通して噴射口5…を形成している。ノズル洗浄用管路体21は流路切換弁16の二次側に接続されている。

【0021】しかして、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の格納姿勢において、流路切換弁16の切り換えによりノズル洗浄用管路体21に供給されて3列に分岐された流路8をへて噴射口5…より噴射しておしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13を洗浄する

ことができるようしている。この場合、噴射口5より噴射される圧力は、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13よりの噴射圧と同様となるが、ノズル洗浄用管路体21の管径及び噴射口5の数及び大きさの設定により充分に高い圧力を得ることができ、噴射洗浄が可能になるものである。おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の噴射洗浄は、これらノズル11、13が格納位置に格納されたタイミングでおこなうようにしておくと使用後に洗浄がおこなえてノズル11、13の清浄化を、一層、容易におこなうことができてよい。

【0022】このように、格納姿勢においてシリンダー3より突出しているおしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13を噴射洗浄することができ、噴射されて勢いのある噴射洗浄水によって局部洗浄ノズル1に付着している汚物等を洗浄し落させ、確実に清浄化させることができ、かつ、勢いのある噴射洗浄だから、目視及び感覚的におしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13を洗浄することのアピール感を出すことができ、更に、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の格納姿勢での洗浄だから、毎使用時に噴射洗浄をおこなうことが可能となり、一層、清浄化しやすく、かつ、清浄化がでて汚物等が付着し難くなり、清潔感を得ることができるものである。

【0023】更に、おしり洗浄ノズル11又はビデ洗浄ノズル13の一方が格納姿勢となって洗浄される場合に、使用姿勢となっている他のビデ洗浄ノズル13又はおしり洗浄ノズル11のスライダー2を同時に洗浄することができることから、スライダー2に汚物が付着することをも防止することができるものである。

【0024】図9乃至図10に示すように、ノズル噴射洗浄手段4における噴射口5…を形成する面は約45°の傾斜面22に形成されていて噴射口5はおしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の軸芯Xに対して略垂直になっている。

【0025】しかして、局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して垂直に噴射洗浄水を噴射させることができ、噴射洗浄効果を高めることができるのである。

【0026】この場合、噴射口5の形状は、局部洗浄ノズル1の軸芯Xの方向に対し扇状（円錐状であってもよい）に拡散するように形成されている（図10（b）参照）。しかして、扇状（又は円錐状）に拡散するように噴射洗浄をおこなうことができ、少ない噴射口5で洗浄範囲を増すことができるものである。

【0027】ところで、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の格納位置において、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の上方を飛散防止板6にて覆っていて、噴射洗浄水が局部洗浄ノズル1の上方に飛散することを防止して、局部洗浄装置Aの内部への飛散を阻止することができ、かつ、使用者の身体への飛散を防止し、汚物を含んだ噴射洗浄水を便器の内部に落とすことができる。

ことができるのである。

【0028】図15は他の実施の形態を示す斜視図であり、但し、本実施の形態の基本構成は上記実施の形態と共通であり、共通する部分には同一の符号を付して説明は省略する。

【0029】本実施の形態においては、ノズル噴射洗浄手段4の噴射口5…を、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の軸芯Xに対して周方向に間隔を隔てて並設しているものである。

【0030】具体的には、噴射口5を形成する面を円弧面としてこの円弧面24において円弧方向に間隔を隔ててスリット状の噴射口5…を形成したものである。

【0031】しかして、局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して周方向に間隔を隔てて並設した噴射口5…によっておしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の全体を洗浄できるものである。

【0032】図16は更に他の実施の形態を示す斜視図であり、但し、本実施の形態の基本構成は上記実施の形態と共通であり、共通する部分には同一の符号を付して説明は省略する。

【0033】本実施の形態においては、ノズル噴射洗浄手段4の噴射口5の形状は、局部洗浄ノズル1に対する噴射角度が2様に異なるように形成している。

【0034】具体的には、傾斜面22と傾斜面22とは角度が異なる縦面25とに一連にスリット状の噴射口5を形成したものである。

【0035】本実施の形態においては、2様に異なる噴射角度で洗浄水を噴射させることができ、少ない噴射口5で洗浄範囲を増すことができるものである。

【0036】図17及び図18は更に他の実施の形態を示す斜視図であり、但し、本実施の形態の基本構成は上記実施の形態と共通であり、共通する部分には同一の符号を付して説明は省略する。

【0037】本実施の形態においては、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の格納位置において、局部洗浄ノズル1の上方を覆う上記飛散防止板6の他に、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の背方を覆う背方飛散防止板23及び側方を覆う側方飛散防止板7を設けたものである。

【0038】しかして、上方、背方及び側方に洗浄水が飛散するのを防止するのであり、上方及び局部洗浄装置Aの内部への飛散及び便器の外部への飛散を阻止することができ、かつ、使用者の身体への飛散を防止し、汚物を含んだ噴射洗浄水を便器の内部に落とすことができる。更に、側方飛散防止板7によって汚物を含んだ噴射洗浄水が側方へ飛散するのを阻止することができる。

【0039】この場合、飛散防止板6及び背方飛散防止板23はノズル洗浄用管路体21に一体化され、側方飛散防止板7は局部洗浄装置Aの本体ケース26に一体化

されている。本体ケース26の上部先端部は図19に示すように、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13の出退時に当たることがない程度にまで垂下されていて、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13を隠すとともにこの垂下片27においてもノズル洗浄水が飛散するのを防止するようにしている。ところで、飛散防止板6はノズル洗浄用管路体21と別体にしてもよいものである。

#### 【0040】

【発明の効果】請求項1においては、局部を洗浄する局部洗浄ノズルを使用姿勢と格納姿勢とに変更可能に設けた局部洗浄装置であって、局部洗浄ノズルを先端に備えたスライダーをシリンドラーに出退自在に設け、スライダーをシリンドラー内に収納した局部洗浄ノズルの格納姿勢においては局部洗浄ノズルがシリンドラーより突出しているように構成し、局部洗浄ノズルの少なくとも格納姿勢で局部洗浄ノズルに付着した汚物等を噴射洗浄して落とすノズル噴射洗浄手段を設けているから、格納姿勢においてシリンドラーより突出している局部洗浄ノズルをノズル噴射洗浄手段より噴射される噴射洗浄水によって洗浄することができ、噴射されて勢いのある噴射洗浄水によって局部洗浄ノズルに付着している汚物等を洗浄し落とさせ、確実に清浄化させることができ、かつ、勢いのある噴射洗浄だから、目視及び感覚的に局部洗浄ノズルを洗浄することのアピール感を出すことができ、更に、局部洗浄ノズルの格納姿勢での洗浄だから、毎使用時に噴射洗浄をおこなうことが可能となり、一層、清浄化しやすく、かつ、清浄化ができて汚物等が付着し難くなり、清潔感を得ることができるという利点がある。

【0041】請求項2においては、請求項1の構成に加えて、ノズル噴射洗浄手段の洗浄水の噴射口を局部洗浄ノズルの軸芯に対して垂直方向にしているから、請求項1の効果に加えて、局部洗浄ノズルの軸芯に対して垂直に噴射洗浄水を噴射させることができ、噴射洗浄効果を高めることができるという利点がある。

【0042】請求項3においては、請求項2の構成に加えて、局部洗浄ノズルの上部及び側方部を噴射洗浄する少なくとも2個以上の噴射口を設けているから、請求項2の効果に加えて、局部洗浄ノズルの上部及び側方部を噴射洗浄することができ、一層、清浄化できるという利点がある。

【0043】請求項4においては、請求項1の構成に加えて、ノズル噴射洗浄手段の噴射口を、局部洗浄ノズルの軸芯に対して周方向に間隔を隔てて並設しているから、請求項1の効果に加えて、局部洗浄ノズルの軸芯に対して周方向に間隔を隔てて並設した噴射によって局部洗浄ノズルの全体を洗浄できるという利点がある。

【0044】請求項5においては、請求項1の構成に加えて、ノズル噴射洗浄手段の噴射口の形状は、局部洗浄ノズルに対する噴射角度が2様以上に異なるように形成

しているから、請求項1の効果に加えて、2様以上に異なる噴射角度で洗浄水を噴射させることができ、少ない噴射口で洗浄範囲を増すことができるという利点がある。

【0045】請求項6においては、請求項1の構成に加えて、局部洗浄ノズルの噴射口の形状において、局部洗浄ノズルの軸芯の方向に対し扇状、又は円錐状に拡散するように形成されているから、請求項1の効果に加えて、扇状、又は円錐状に拡散するように噴射洗浄をおこなうことができ、少ない噴射口で洗浄範囲を増すことができるという利点がある。

【0046】請求項7においては、請求項1の構成に加えて、局部洗浄ノズルの格納位置において、局部洗浄ノズルの上方及び背方に洗浄水が飛散するのを防止する飛散防止板を設けているから、請求項1の効果に加えて、噴射洗浄水が局部洗浄ノズルの上方及び背方に飛散することを防止して、局部洗浄装置の内部への飛散及び便器の外部への飛散を阻止することができ、かつ、使用者の身体への飛散を防止し、汚物を含んだ噴射洗浄水を便器の内部に落とすことができるという利点がある。

【0047】請求項8においては、請求項7の構成に加えて、局部洗浄ノズルの側方に洗浄水が飛散するのを防止する側方飛散防止板を備えているから、請求項7の効果に加えて、側方飛散防止板によって汚物を含んだ噴射洗浄水が側方へ飛散するのを阻止することができるという利点がある。

【0048】請求項9においては、請求項7の構成に加えて、飛散防止板にノズル噴射洗浄手段の噴射口にいたる流路を形成しているから、請求項7の効果に加えて、ノズル噴射洗浄手段への洗浄水の供給を飛散防止板に形成した流路によりおこなうことができ、構成を簡素化できるという利点がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の一形態の局部洗浄ノズルの斜視図である。

【図2】同上の局部洗浄装置の斜視図である。

【図3】同上の系統図である。

【図4】同上のおしり洗浄ノズルの一部が突出し、ビデ洗浄ノズルが格納された斜視図である。

【図5】同上の両ノズルが格納された斜視図である。

【図6】同上の両ノズルの格納状態の斜視図である。

【図7】同上の側面図である。

【図8】同上の斜視図である。

【図9】同上のノズル噴射洗浄手段の斜視図である。

【図10】(a)はノズル噴射洗浄手段の斜視図、(b)は(a)のB-B線断面図である。

【図11】同上のノズル噴射洗浄手段の斜視図である。

【図12】同上のスライダーの洗浄時の斜視図である。

【図13】同上の噴射洗浄範囲を示す説明図である。

【図14】同上のノズル噴射洗浄手段の斜視図である。

【図15】同上のノズル噴射洗浄手段の他の実施の形態  
の斜視図である。

【図16】同上のノズル噴射洗浄手段の更に他の実施の  
形態の斜視図である。

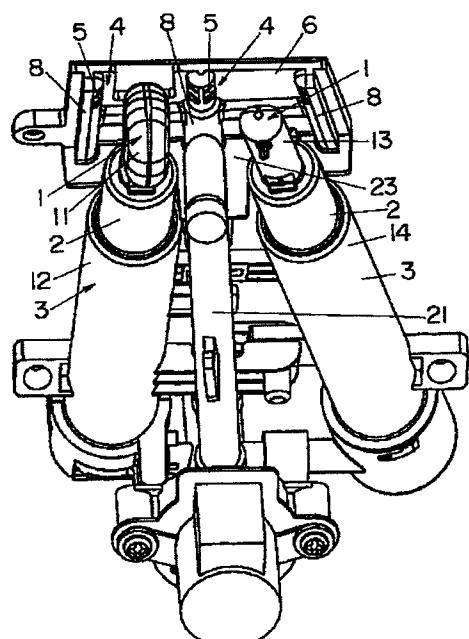
【図17】同上の飛散防止板及び装置を示す部分斜視図  
である。

【図18】同上の拡大斜視図である。

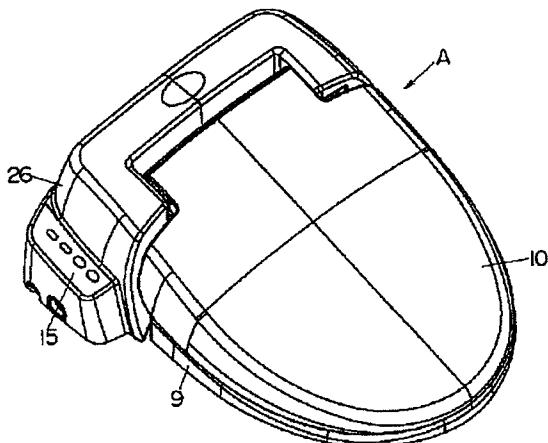
\* 【図19】同上の拡大側断面図である。  
【符号の説明】

- 1 局部洗浄ノズル
- 2 スライダー
- 3 シリンダー
- 4 ノズル噴射洗浄手段
- 5 噴射口

【図1】

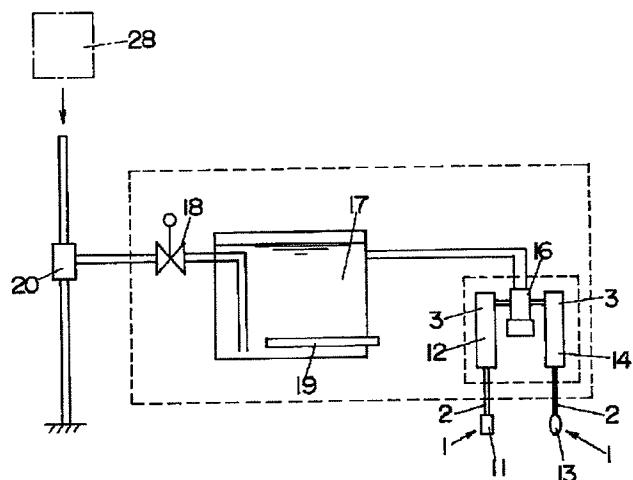


【図2】

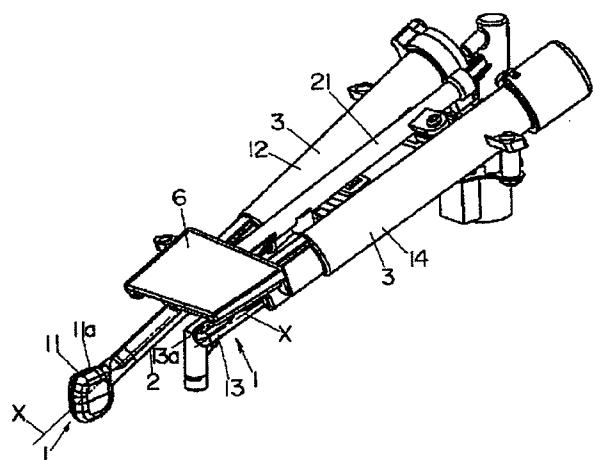


【図3】

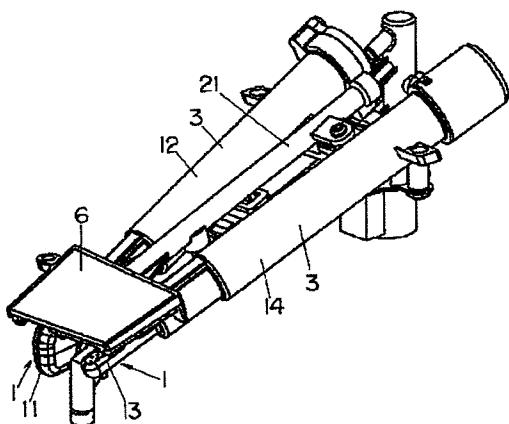
- 1 局部洗浄ノズル
- 2 スライダー
- 3 シリンダー
- 4 ノズル噴射洗浄手段
- 5 噴射口



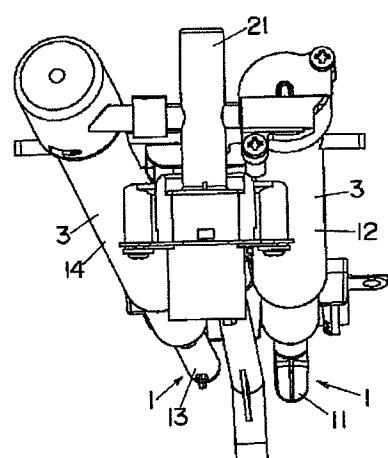
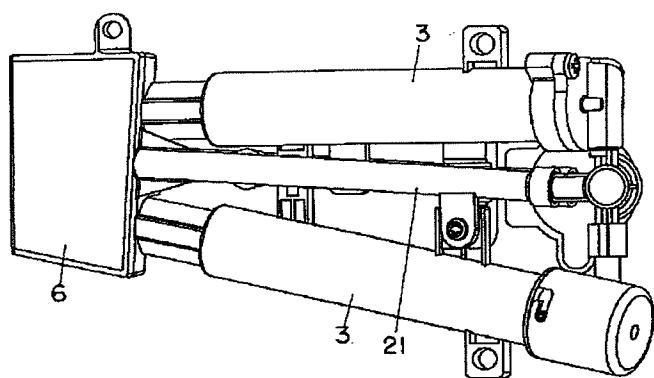
【図4】



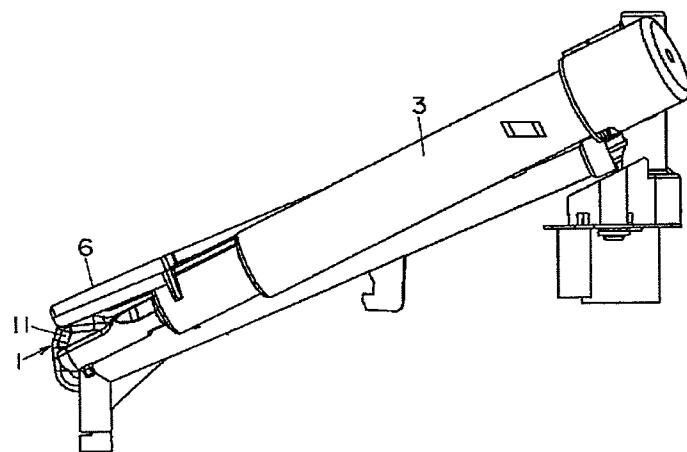
【図5】



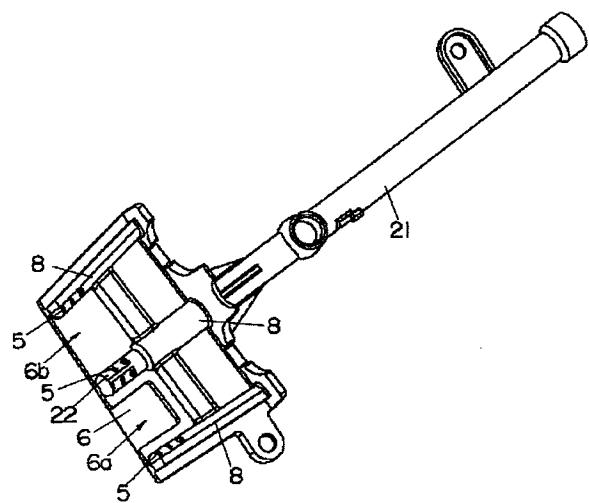
【図6】



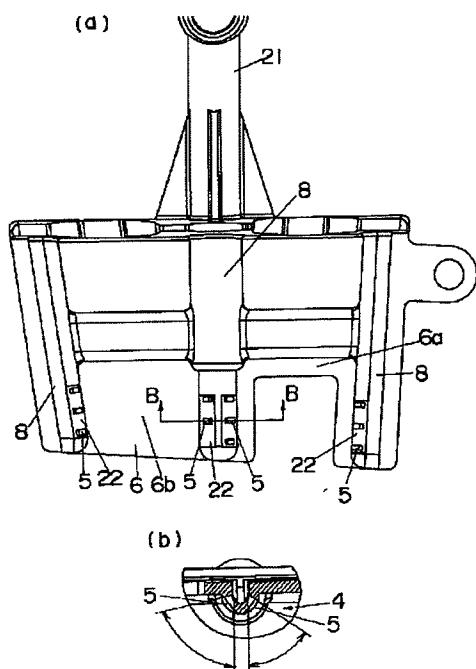
【図7】



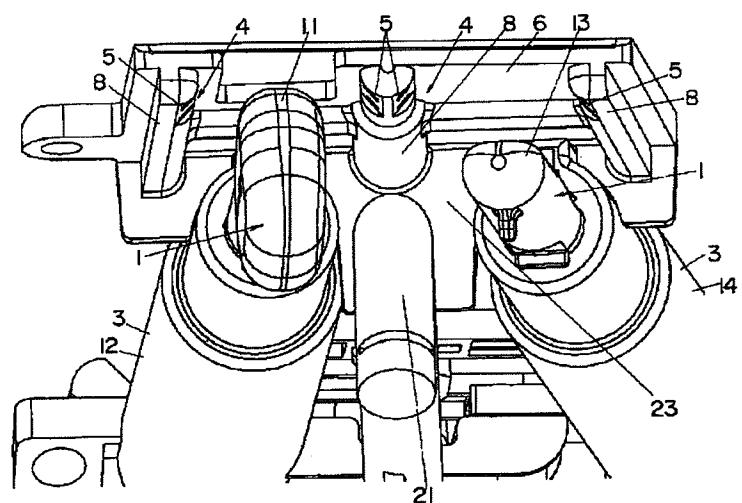
【図9】



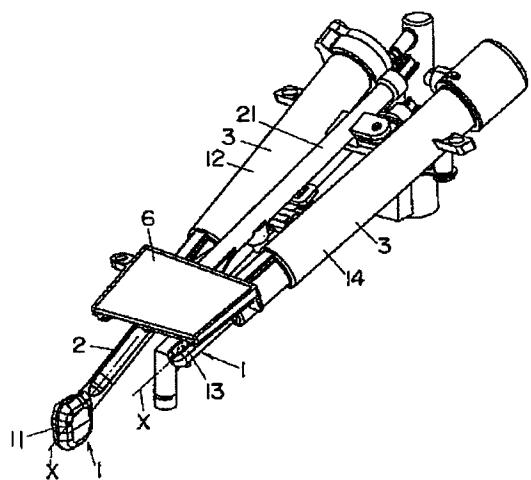
【図10】



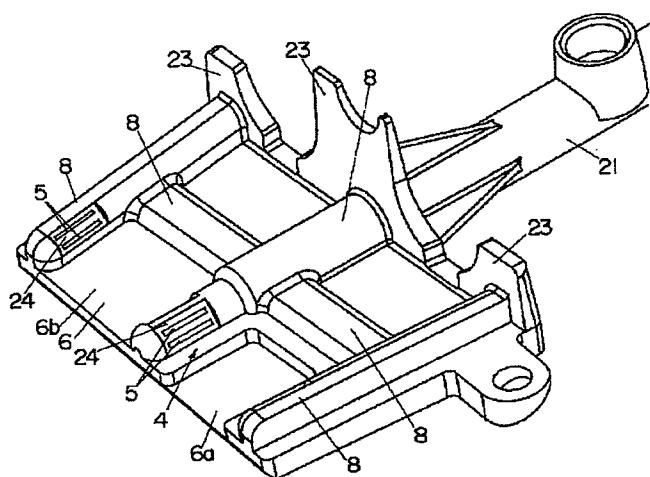
【図11】



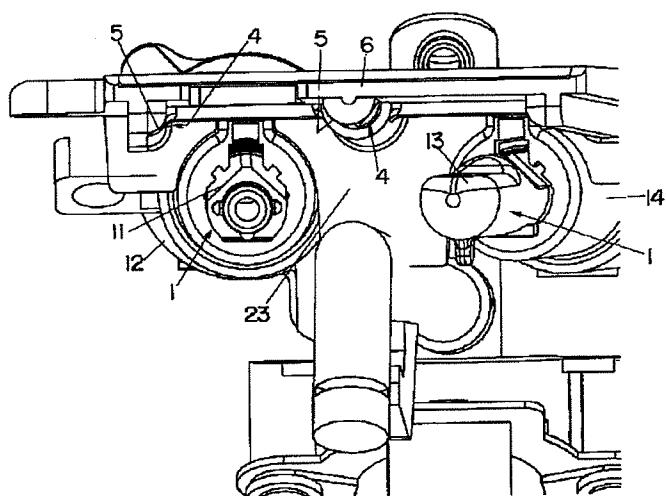
【図12】



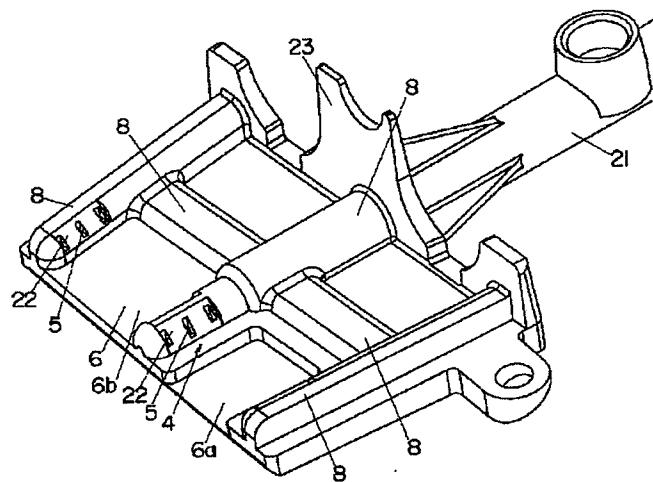
【図15】



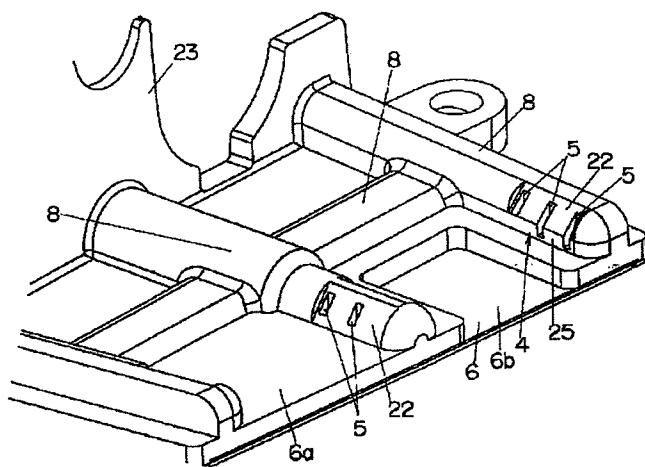
【図13】



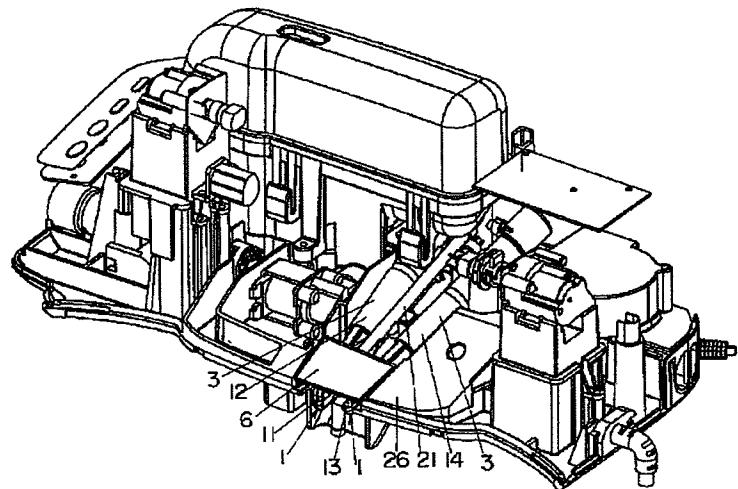
【図14】



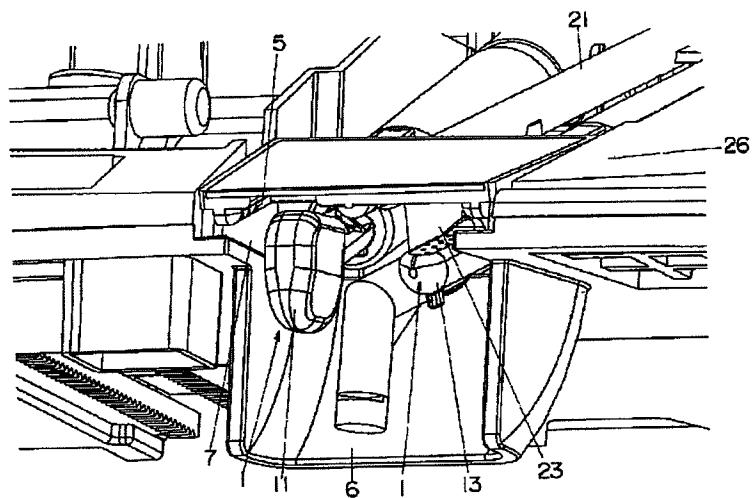
【図16】



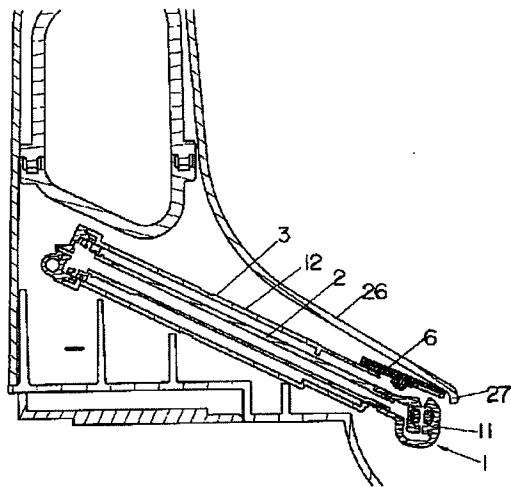
【図17】



【図18】



【図19】



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公開番号】特開2002-213004(P2002-213004A)

【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)

【出願番号】特願2001-10610(P2001-10610)

【国際特許分類】

E 03 D 9/08 (2006.01)

【F I】

E 03 D 9/08 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月25日(2009.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 使用者の局部を洗浄する局部洗浄ノズルと、  
前記局部洗浄ノズルが先端に設けられたスライダーと、

前記スライダーが出退自在に設けられたシリンダーと、

前記局部洗浄ノズルの上部及び側方部を噴射洗浄するための2個以上の噴射口が設けら  
れているノズル噴射洗浄手段と、

を有しており、

前記局部洗浄ノズルは、前記スライダーが前記シリンダー内に収納される前記局部洗浄  
ノズルの格納姿勢と、前記局部洗浄ノズルが使用時に突出位置まで突出される前記局部洗  
浄ノズルの使用姿勢とに変更可能に設けられており、

前記局部洗浄ノズルは、前記格納姿勢において、前記シリンダーより突出するように構  
成されており、

前記ノズル噴射洗浄手段は、前記格納姿勢および前記使用姿勢のうちの少なくとも前記  
格納姿勢において、前記局部洗浄ノズルへ前記洗浄水を噴射し、前記局部洗浄ノズルに付  
着した汚物等を噴射洗浄して落とすこと、  
を特徴とする局部洗浄装置。

【請求項2】 前記ノズル噴射洗浄手段の前記噴射口が、前記局部洗浄ノズルの軸芯に  
対して垂直方向に形成されていることを特徴とする請求項1記載の局部洗浄装置。

【請求項3】 前記ノズル噴射洗浄手段の前記噴射口が、前記局部洗浄ノズルの前記軸  
芯に対して周方向に間隔を隔てて並設されていることを特徴とする請求項1または2記載  
の局部洗浄装置。

【請求項4】 前記ノズル噴射洗浄手段の前記噴射口の形状が、前記局部洗浄ノズルに  
対する噴射角度が2様以上に異なるように形成されていることを特徴とする請求項1～3  
のうちの何れか1項記載の局部洗浄装置。

【請求項5】 前記局部洗浄ノズルの前記噴射口の形状が、前記局部洗浄ノズルの前記  
軸芯の方向に対し扇状、又は円錐状に拡散するように形成されていることを特徴とする請  
求項1～4のうちの何れか1項記載の局部洗浄装置。

【請求項6】 前記局部洗浄ノズルの前記格納位置において、前記局部洗浄ノズルの上  
方に前記洗浄水が飛散するのを防止する飛散防止板が設けられていることを特徴とする請  
求項1～5のうちの何れか1項記載の局部洗浄装置。

【請求項7】 前記局部洗浄ノズルの背方に前記洗浄水が飛散するのを防止する背方飛

散防止板が更に設けられていることを特徴とする請求項 6 記載の局部洗浄装置。

【請求項 8】 前記局部洗浄ノズルの側方に前記洗浄水が飛散するのを防止する側方飛散防止板が更に設けられていることを特徴とする請求項 7 記載の局部洗浄装置。

【請求項 9】 前記飛散防止板に前記ノズル噴射洗浄手段の前記噴射口にいたる流路が形成されていることを特徴とする請求項 6 ~ 8 のうちの何れか 1 項記載の局部洗浄装置。

【請求項 10】 前記流路が 3 列に分岐されており、3 列の流路のそれぞれの分岐先端には、前記噴射口がそれぞれ形成されていることを特徴とする請求項 9 記載の局部洗浄装置。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】** 明細書

**【補正対象項目名】** 0008

**【補正方法】** 変更

**【補正の内容】**

**【0008】**

請求項 1 においては、

使用者の局部を洗浄する局部洗浄ノズル 1 と、

局部洗浄ノズル 1 が先端に設けられたスライダー 2 と、

スライダー 2 が出退自在に設けられたシリンダー 3 と、

局部洗浄ノズル 1 の上部及び側方部を噴射洗浄するための 2 個以上の噴射口 5 が設けられているノズル噴射洗浄手段 4 と、

を有しており、

局部洗浄ノズル 1 は、スライダー 2 がシリンダー 3 内に収納される局部洗浄ノズル 1 の格納姿勢と、局部洗浄ノズル 1 が使用時に突出位置まで突出される局部洗浄ノズル 1 の使用姿勢とに変更可能に設けられており、

局部洗浄ノズル 1 は、格納姿勢において、シリンダー 3 より突出するように構成されており、

ノズル噴射洗浄手段 4 は、格納姿勢および使用姿勢のうちの少なくとも格納姿勢において、局部洗浄ノズル 1 へ洗浄水を噴射し、局部洗浄ノズル 1 に付着した汚物等を噴射洗浄して落とすこと、

を特徴とするものである。

このような構成によれば、格納姿勢においてシリンダー 3 より突出している局部洗浄ノズル 1 をノズル噴射洗浄手段 4 より噴射される噴射洗浄水によって洗浄することができ、噴射されて勢いのある噴射洗浄水によって局部洗浄ノズル 1 に付着している汚物等を洗浄し落とさせ、確実に清浄化させることができ、かつ、勢いのある噴射洗浄だから、目視及び感覚的に局部洗浄ノズル 1 を洗浄することのアピール感を出すことができ、更に、局部洗浄ノズル 1 の格納姿勢での洗浄だから、毎使用時に噴射洗浄をおこなうことが可能となり、一層、清浄化しやすく、かつ、清浄化ができる汚物等が付着し難くなり、清潔感を得ることができる。また、局部洗浄ノズル 1 の上部及び側方部を噴射洗浄する少なくとも 2 個以上の噴射口 5 を設けているため、局部洗浄ノズル 1 の上部及び側方部を噴射洗浄することができ、一層、清浄化できる。

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】** 明細書

**【補正対象項目名】** 0010

**【補正方法】** 削除

**【補正の内容】**

**【手続補正 4】**

**【補正対象書類名】** 明細書

**【補正対象項目名】** 0011

**【補正方法】** 変更

**【補正の内容】**

**【0011】**

請求項3においては、ノズル噴射洗浄手段4の噴射口5…を、局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して周方向に間隔を隔てて並設していることを特徴とするものである。このような構成によれば、局部洗浄ノズル1の軸芯Xに対して周方向に間隔を隔てて並設した噴射口5…によって局部洗浄ノズル1の全体を洗浄できる。

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0012】**

請求項4においては、ノズル噴射洗浄手段4の噴射口5の形状は、局部洗浄ノズル1に対する噴射角度が2様以上に異なるように形成していることを特徴とするものである。このような構成によれば、2様以上に異なる噴射角度で洗浄水を噴射させることができ、少ない噴射口5で洗浄範囲を増すことができる。

**【手続補正6】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0013】**

請求項5においては、局部洗浄ノズル1の噴射口5の形状において、局部洗浄ノズル1の軸芯Xの方向に対し扇状、又は円錐状に拡散するように形成されていることを特徴とするものである。このような構成によれば、扇状、又は円錐状に拡散するように噴射洗浄をおこなうことができ、少ない噴射口5で洗浄範囲を増すことができる。

**【手続補正7】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0014】**

請求項6においては、局部洗浄ノズル1の格納位置において、局部洗浄ノズル1の上方に洗浄水が飛散するのを防止する飛散防止板6を設けていることを特徴とするものである。このような構成によれば、噴射洗浄水が局部洗浄ノズル1の上方に飛散することを防止して、局部洗浄装置の内部への飛散及び便器の外部への飛散を阻止することができ、かつ、使用者の身体への飛散を防止し、汚物を含んだ噴射洗浄水を便器の内部に落とすことができる。

また、請求項7においては、局部洗浄ノズル1の背方に洗浄水が飛散するのを防止する背方飛散防止板23が更に設けられていることを特徴とするものである。このような構成によれば、噴射洗浄水が局部洗浄ノズル1の背方に飛散することを防止して、局部洗浄装置の内部への飛散及び便器の外部への飛散を阻止することができ、かつ、使用者の身体への飛散を防止し、汚物を含んだ噴射洗浄水を便器の内部に落とすことができる。

**【手続補正8】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0015】**

請求項8においては、局部洗浄ノズル1の側方に洗浄水が飛散するのを防止する側方飛散防止板7が更に設けられていることを特徴とするものである。このような構成によれば

、側方飛散防止板7によって汚物を含んだ噴射洗浄水が側方へ飛散するのを阻止することができる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項9においては、飛散防止板6にノズル噴射洗浄手段4の噴射口5にいたる流路8を形成していることを特徴とするものである。このような構成によれば、ノズル噴射洗浄手段4への洗浄水の供給を飛散防止板6に形成した流路8によりおこなうことができ、構成を簡素化できる。

また、請求項10においては、流路8が3列に分岐されており、3列の流路8のそれぞれの分岐先端には、噴射口5がそれぞれ形成されていることを特徴とするものである。このような構成によれば、噴射口5より噴射される圧力は、おしり洗浄ノズル11及びビデ洗浄ノズル13よりの噴射圧と同様となるが、ノズル洗浄用管路体21の管径及び噴射口5の数及び大きさの設定により充分に高い圧力を得ることができ、噴射洗浄が可能になるものである。